

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 50 号

第 50 週(12月 8日 ~ 12月14日)

発行年月日:平成20年(2008年) 12月18日

発行 行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

インフルエンザの流行開始! 腸管出血性大腸菌感染症の発生は53例

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりさらに多くなっています。今週増加した疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘等で、減少した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、伝染性紅斑(リンゴ病)、マイコプラズマ肺炎等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

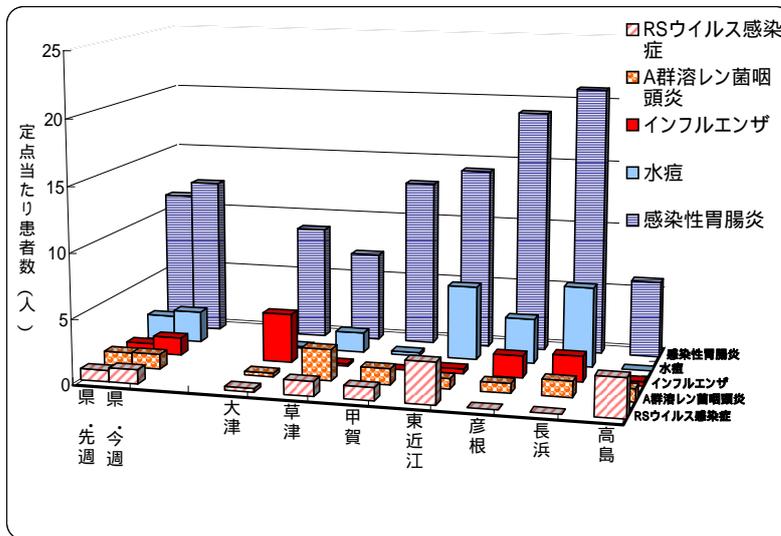
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報および注意報の発生状況については、咽頭結膜熱(プール熱)では高島で、感染性胃腸炎では長浜で警報終息基準値(*)を越えています。また、水痘では東近江および長浜で注意報開始基準値(**)を超えています。

(*) : 咽頭結膜熱---定点当たり患者数 0.10、感染性胃腸炎---定点当たり患者数 12.00

(**): 水痘---定点当たり患者数 4.00

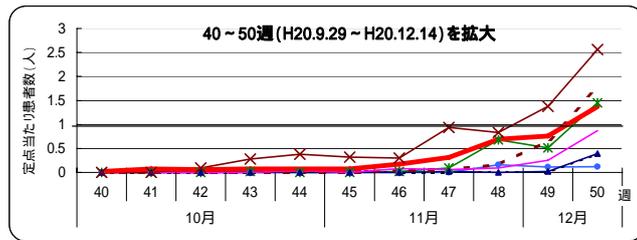
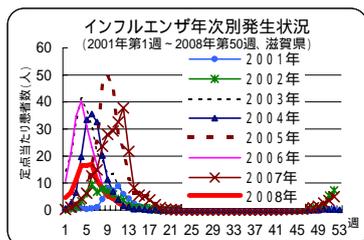
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で7名、細菌性赤痢で1名、腸管出血性大腸菌感染症で2名、五類感染症のアメーバ赤痢で1名の届出がありました。

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第50週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、インフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、RSウイルス感染症の順に多くなっています。感染性胃腸炎は草津で、水痘は東近江および長浜で急増しています。インフルエンザは、甲賀以外で先週より多くなっています。また、RSウイルス感染症は東近江および高島からの報告が多くなっています。

インフルエンザの年次別発生状況(2001年第1週~2008年第50週、H13.1.1~H20.12.14)



インフルエンザの年次別発生状況はグラフに示すとおりで、定点当たり患者数が流行開始の指標となる1.00を超えたのは、2007年では第49週、2002年、2005年および2008年では第50週となっています。今後の流行に備えて、手洗いおよびうがいの励行、マスクをする、ワクチン接種等予防に対する十分な注意が必要です。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (50週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (50週)	全国 (50週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	7	273	26,532	178	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	1	3	307	^{(*)2} 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	2	53	4,254	55	4,586
	パラチフス	0	0	26	1	22
四類感染症	E型肝炎	0	0	41	1	54
	A型肝炎	0	3	167	1	154
	コクシジオイデス症	0	1	2	0	3
	デング熱	0	2	101	1	89
	マラリア	0	1	53	1	52
	レジオネラ症	0	10	849	8	655
五類感染症	アメーバ赤痢	1	10	819	15	781
	ウイルス性肝炎	0	5	226	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	141	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	110	1	96
	後天性免疫不全症候群	0	11	1,468	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	73	1	56
	梅毒	0	4	797	2	714
	破傷風	0	5	117	0	88
	急性脳炎	0	1	174	2	216
	風しん ^{(*)3}	0	2	297	-	-
	麻しん ^{(*)3}	0	39	10,969	-	-

*1: 平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

*3: 平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第50週(12/8~12/14) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核 315例	三類感染症: 細菌性赤痢 9例 腸管出血性大腸菌感染症 20例	四類感染症: つつが虫病 27例 日本紅斑熱 2例 ライム病 1例 レジオネラ症 14例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 21例 クロイツフェルト・ヤコブ病 2例 バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例 ウイルス性肝炎 5例 急性脳炎 1例 風しん 2例 麻しん 13例
四類感染症: A型肝炎 1例 デング熱 2例 マラリア 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 14例 ジアルジア症 1例 梅毒 12例			

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第45~50週、11/10~12/14)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	45週		46週		47週		48週		49週		50週	
	(11/3~)	(11/10~)	(11/17~)	(11/24~)	(12/1~)	(12/8~)	46	47	48	49	50	
インフルエンザ	0.07	0.17	0.31	0.69	0.76	1.37						
RSウイルス感染症	0.30	0.55	0.85	0.58	0.88	1.09						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.06	0.15	0.21	0.24	0.33	0.27						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.73	1.48	1.30	1.15	1.12	1.15						
感染性胃腸炎	4.88	5.76	8.55	8.91	11.15	12.30						
水痘	0.52	1.24	0.91	1.79	1.97	2.45						
手足口病	0.42	0.36	0.76	0.33	0.36	0.27						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.03	0.06	0.06	0.06	0.03						
突発性発しん	0.06	0.39	0.36	0.24	0.48	0.27						
百日咳	0	0	0.03	0	0.03	0						
ヘルパンギーナ	0.03	0.15	0.03	0	0.06	0.33						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.94	0.97	1.09	0.97	0.67	0.82						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.38	1.63	0.75	0.38	0.38	0.25						
細菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0.14	0						
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0.43	0						
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.29	0.71	1.29	0.43	0.14						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						

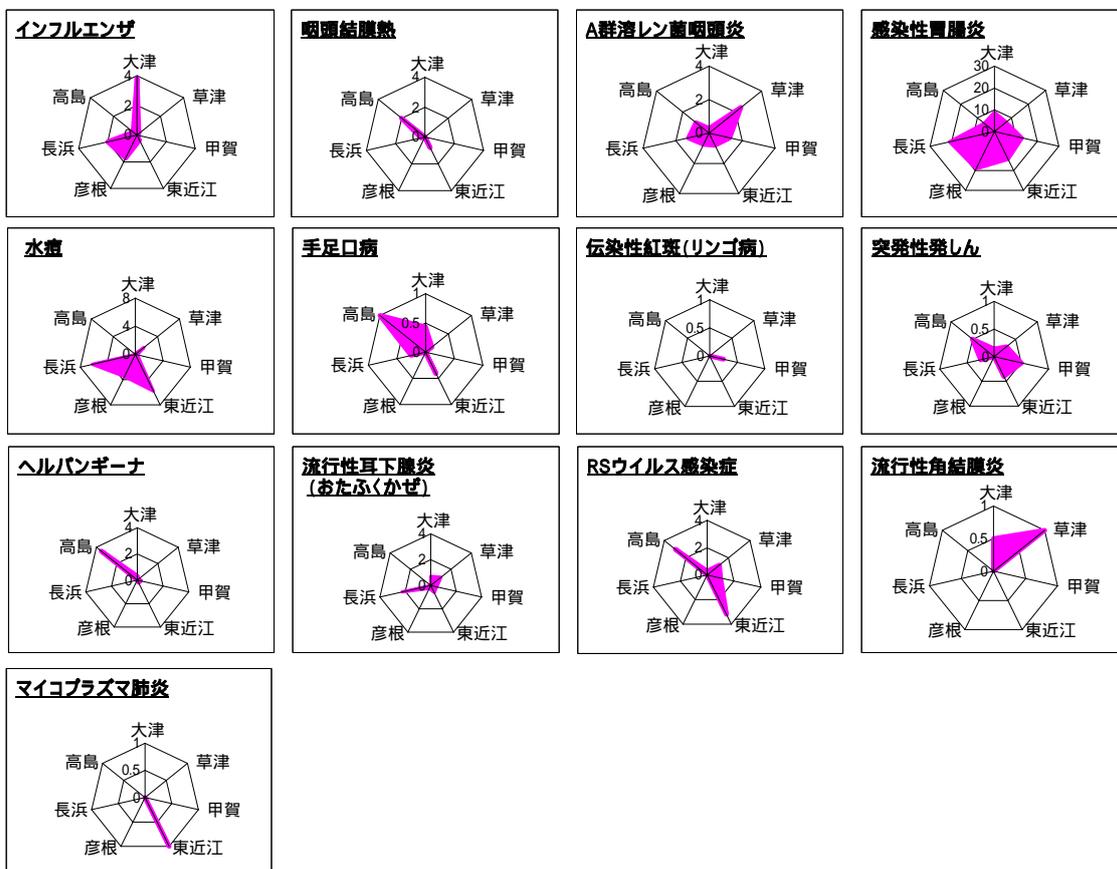
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第50週、12/8～12/14)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	1.37	3.82	0.18	0	0.38	1.71	2.00	0.33	
RSウイルス感染症	1.09	0.29	1.14	1.00	3.20	0	0	3.00	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.27	0	0	0	0.80	0	0.25	2.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.15	0.29	2.43	1.25	0.80	0.75	1.25	1.00	
感染性胃腸炎	12.30	8.86	7.00	13.00	14.20	19.00	21.00	6.00	
水痘	2.45	0.14	1.57	0.25	5.80	3.50	6.25	0	
手足口病	0.27	0.43	0.14	0	0.40	0	0.25	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0	
突発性発しん	0.27	0.14	0.29	0.50	0.40	0	0.25	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.33	0.29	0	0.25	0.20	0	0	3.50	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.82	0.71	1.00	0.50	0.60	0.25	2.25	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.25	0.50	1.00	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

0 3 6 9 12 15
定点当たり患者数(人)

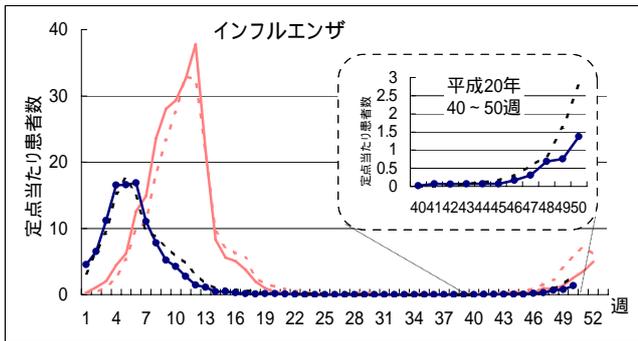
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：

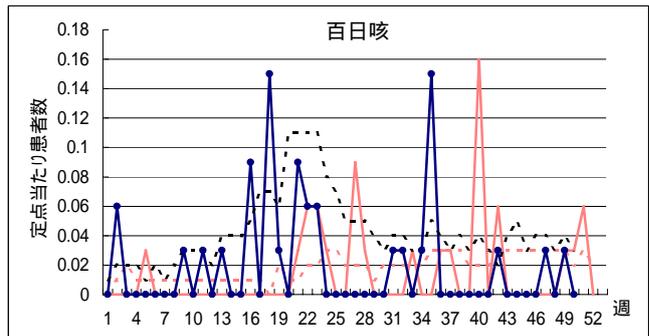
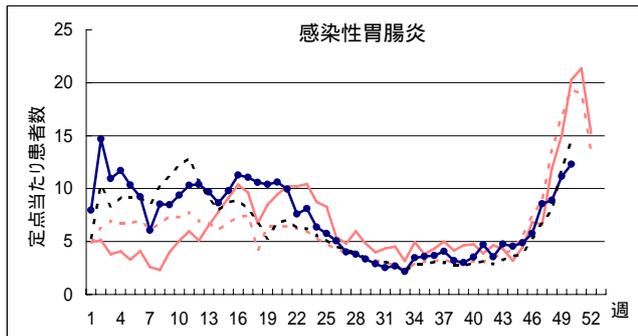
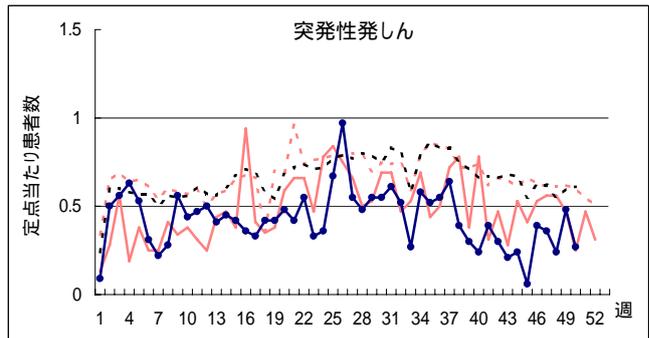
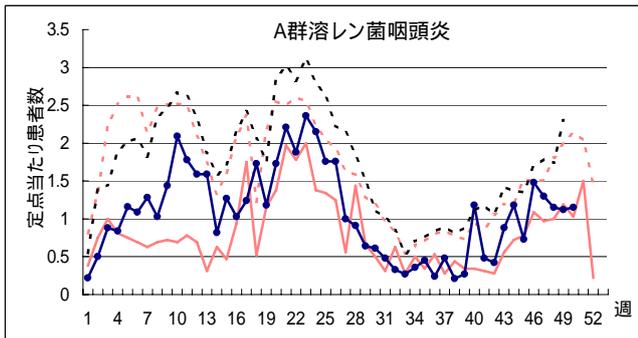
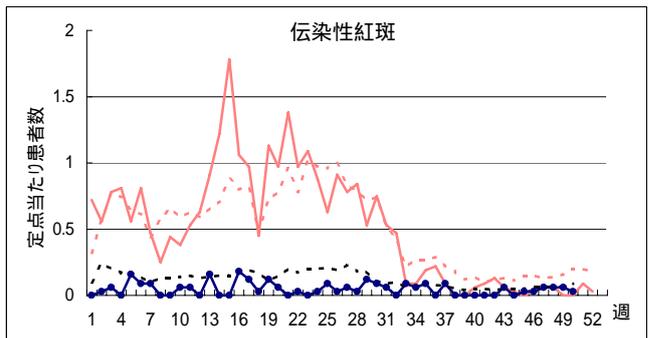
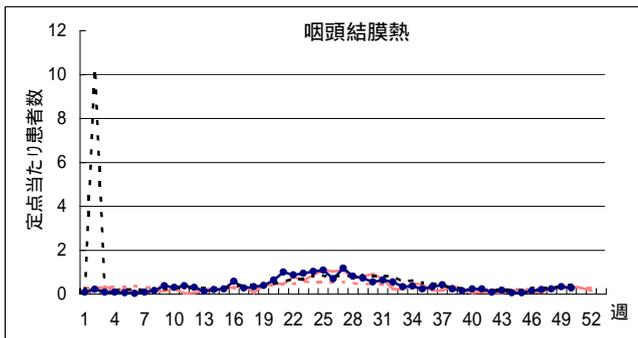
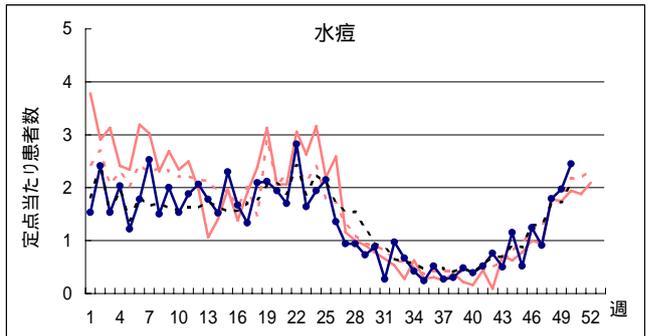
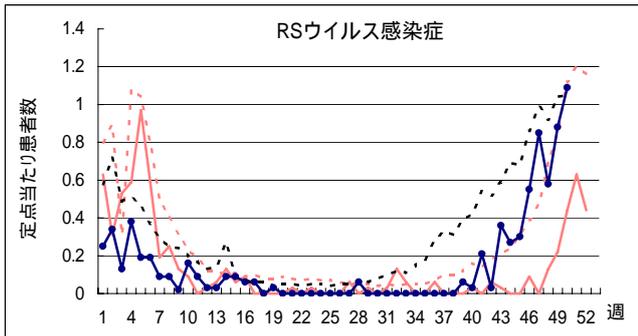
- インフルエンザ-----県全体では先週よりほぼ倍増し、定点当たり患者数は1.37となり流行開始の指標となる1.00を超えています。
- 咽頭結膜熱-----高島では先週より減少していますが、定点当たり患者数は2.00で警報終息基準値(0.10)を超えています。
- 感染性胃腸炎-----草津では先週よりかなり増加し、東近江および彦根では先週よりさらに増加しています。また、長浜ではやや減少していますが、定点当たり患者数は21.00となり警報終息基準値(12.00)を超えています。
- 水痘-----東近江および長浜で急増しています。また、県全体での年齢別発生割合は1～2歳および5歳で多くなっています。
- ヘルパンギーナ-----高島で先週よりかなり多くなっています。

疾病別定点当たり患者数(平成20年第50週、H19.12.31～H20.12.14)

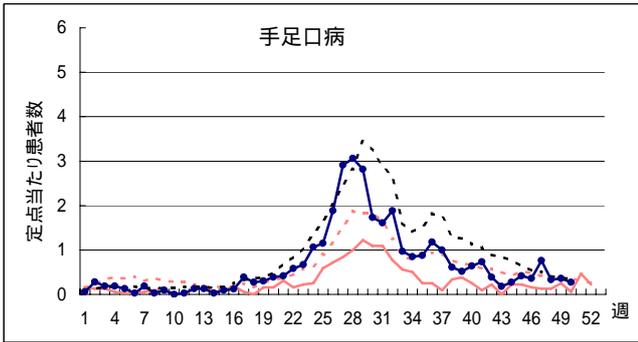


H19 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)

H20 { 滋賀 (solid blue line with dots)
全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第50週、H19.12.31～H20.12.14)



H19 { 滋賀 ————
 全国
 H20 { 滋賀 ●—●—
 全国

